

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 健康科学	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 北 進司	当該科目に関する実務経験																																													
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (2単位)	配当学年・時期 1年・後期	必修・選択 必修																																													
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯を通して、心身ともに健康な生活をおくるための知識を学ぶ。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージ各期のめざすべき健康な体力作りとその管理、維持、増進のための適切な運動、休養の意義を修得する。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯における健康への自己の認識を確立し、実践できるようになる。 																																																
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">1.</td><td style="width: 35%;">現代の健康問題外観</td><td style="width: 60%;"></td></tr> <tr><td>2.</td><td>人の心身と健康を知る</td><td>身体と健康、心と健康</td></tr> <tr><td>3.</td><td style="text-align: center;">〃</td><td>遺伝と健康</td></tr> <tr><td>4.</td><td style="text-align: center;">〃</td><td>適応と健康</td></tr> <tr><td>5.</td><td>健康の基礎</td><td>環境と健康、栄養と健康</td></tr> <tr><td>6.</td><td style="text-align: center;">〃</td><td>運動と健康－運動の効果、運動と健康－運動による傷害</td></tr> <tr><td>7.</td><td style="text-align: center;">〃</td><td>生活習慣と健康</td></tr> <tr><td>8.</td><td>社会と健康</td><td>社会と健康</td></tr> <tr><td>9.</td><td style="text-align: center;">〃</td><td>集団と健康</td></tr> <tr><td>10.</td><td style="text-align: center;">〃</td><td>経済と健康、法と健康</td></tr> <tr><td>11.</td><td>科学技術と健康</td><td>化学物質と健康、情報技術の革新と健康</td></tr> <tr><td>12.</td><td style="text-align: center;">〃</td><td>交通・輸送の革新と健康</td></tr> <tr><td>13.</td><td style="text-align: center;">〃</td><td>住宅と健康</td></tr> <tr><td>14.</td><td>健康観と健康に関する社会のしくみ</td><td></td></tr> <tr><td>15.</td><td>期末試験</td><td></td></tr> </table>				1.	現代の健康問題外観		2.	人の心身と健康を知る	身体と健康、心と健康	3.	〃	遺伝と健康	4.	〃	適応と健康	5.	健康の基礎	環境と健康、栄養と健康	6.	〃	運動と健康－運動の効果、運動と健康－運動による傷害	7.	〃	生活習慣と健康	8.	社会と健康	社会と健康	9.	〃	集団と健康	10.	〃	経済と健康、法と健康	11.	科学技術と健康	化学物質と健康、情報技術の革新と健康	12.	〃	交通・輸送の革新と健康	13.	〃	住宅と健康	14.	健康観と健康に関する社会のしくみ		15.	期末試験	
1.	現代の健康問題外観																																															
2.	人の心身と健康を知る	身体と健康、心と健康																																														
3.	〃	遺伝と健康																																														
4.	〃	適応と健康																																														
5.	健康の基礎	環境と健康、栄養と健康																																														
6.	〃	運動と健康－運動の効果、運動と健康－運動による傷害																																														
7.	〃	生活習慣と健康																																														
8.	社会と健康	社会と健康																																														
9.	〃	集団と健康																																														
10.	〃	経済と健康、法と健康																																														
11.	科学技術と健康	化学物質と健康、情報技術の革新と健康																																														
12.	〃	交通・輸送の革新と健康																																														
13.	〃	住宅と健康																																														
14.	健康観と健康に関する社会のしくみ																																															
15.	期末試験																																															
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト健康科学 改定第2版 (南江堂) 																																																
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点(75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 																																																